

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年 3 月23日
【会社名】	株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
【英訳名】	Fukuoka Financial Group, Inc.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 柴 戸 隆 成
【本店の所在の場所】	福岡市中央区大手門一丁目 8 番 3 号
【電話番号】	092(723)2500(代表)
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 三 好 啓 司
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区大手門一丁目 8 番 3 号 株式会社ふくおかフィナンシャルグループ 経営企画部
【電話番号】	092(723)2502
【事務連絡者氏名】	経営企画部長 三 好 啓 司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号) 証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番 2 号)

1【提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成29年3月21日

(2) 当該事象の内容

当社が保有する連結子会社株式会社熊本銀行及び株式会社親和銀行(以下、両行という)の株式について、経営統合時には想定されなかった経営環境の著しい変化、とりわけマイナス金利の影響などを踏まえ、両行の株式を再評価した結果、実質価額が低下しているため平成29年3月期個別決算において減損処理を行い、子会社株式評価損として特別損失を計上いたします。

上記個別決算における子会社株式の減損処理に伴い、連結決算において両行にかかるのれんの一時償却を行います。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響

平成29年3月期個別決算において、子会社株式評価損1,885億円を特別損失として計上いたします。

なお、子会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はございません。

平成29年3月期連結決算において、のれんの一時償却費として948億円の損失を計上いたします。

以 上